

## 小学校・特別支援学校 生徒指導の基礎基本

平成28年2月28日  
教育センター 研修・研究課  
主任指導主事 原田 雅秀

### 生徒指導から連想すること？

- |       |      |        |
|-------|------|--------|
| 問題行動  | 学年集会 | 怒り役の先生 |
| 保護者対応 | 家庭訪問 | 教育相談など |

生徒指導は、問題を起こした子ども、心配な子ども・配慮を要する子どもに対してとる行動と思いませんか？

### 生徒指導とは？

すべてが  
生徒指導

社会の中で自分らしく生きることができる大人へ子どもが育つように、その成長や発達を促したり支えたりする目的でなされる働きかけ

- |                    |                |
|--------------------|----------------|
| 「だいじょうぶ？」という声かけ    | 「よくやったね」という励まし |
| 将来の夢についての会話        | そのための学習指導      |
| 人間関係を育てる道徳・学級活動・・・ |                |

### 生徒指導を通して・・・

- 子どもとともに考えながら・・・
- あいさつ、ルールやマナーなど (社会性)
  - 確かな学力 (学力)
  - 他人の良さ、自分の良さ (より良い人間関係)



安心した学校生活が過ごせる

### いつ生徒指導を行うのか？

① 日常の授業において。

魅力的な授業づくりが最大の生徒指導

- 学習規律
- ひきつける題材
- 発言できる・考えさせる発問

自分の授業でどんな力をつけたいのか？

### いつ生徒指導を行うのか？

② 学級活動や学校行事において。

安心できる学校 → 自分の居場所がある

自他の良さに気づくことにもなる



そのためにすべきこと

① 子どもをよく知ることから・・・

学校生活全体

- 授業中
- 給食時間
- 昼休み
- 放課後

- ・ 今の話題、ブーム
- ・ 仲良しのメンバー
- ・ 家庭訪問 など

★QUアンケートを活用した  
児童生徒の把握も  
必要になってくる

そのためにすべきこと

② 信頼関係を築く。

- しっかりほめる。
- 毅然とした態度で指導する。
- その理由をわかりやすく伝える。
- 一緒に笑い、遊び、悲しむ・・・

そのためにすべきこと

③ 生徒指導が必要な子どもは、  
全員であるという意識を持つ。

- からかいの対象になりながらも、笑顔の子ども
  - 複雑な家庭環境を抱えている子ども
- 日ごろ問題のない子どもも、SOSのサインを出しているかも・・・。

問題が起きてしまったときに

- 1 初期対応をしっかり行う。
- 2 正確な情報（記録）を報告する。
- 3 その日のうちにじっくり話す。
- 4 事後指導をじっくり行う。

何より、大切なこと

- 1 ひとりで抱え込まず、  
いろいろな人に相談を！
- 2 自分のキャラクターに合った方法を！
- 3 ぶれない生徒指導を！
- 4 問題が起こることが悪いのではない！

こんな子どもが目の前に・・・。

- 1 就学前から不登園（校）のAさん
- 2 虐待を受けたBさん
- 3 障がいのある兄を隠し続けたCさん



**【Iメッセージ】**  
「私」を主語にしたメッセージ

(例題)  
家族が、ずいぶん遅くに帰宅してきました。  
「(おまえは) こんな時間まで何してたんだ」

「おまえが悪い」⇒非難メッセージ  
「うるさい!」という答え

↓

「連絡もないし、私はずっと心配だったよ」  
「ごめんなさい」  
「バスが遅れて、しかも携帯を・・・」

「I(アイ)メッセージ」⇒「You(ユー)メッセージ」

「You(ユー)メッセージ」

- ①「あなた、ひどいことを言うのね」
- ②「あなた、もっと協力してよ」
- ③「あなた、何度言ったらわかるのかな」

➡

「I(アイ)メッセージ」

- ①「そんな言い方をされて、私はショックです」
- ②「力を貸してもらえると、私は助かるわ」
- ③「大事なことから、しっかり覚えてほしい(と私は思っている)」

**小学校・特別支援学校  
生徒指導の基礎基本**

氷の心は、必ず溶ける。

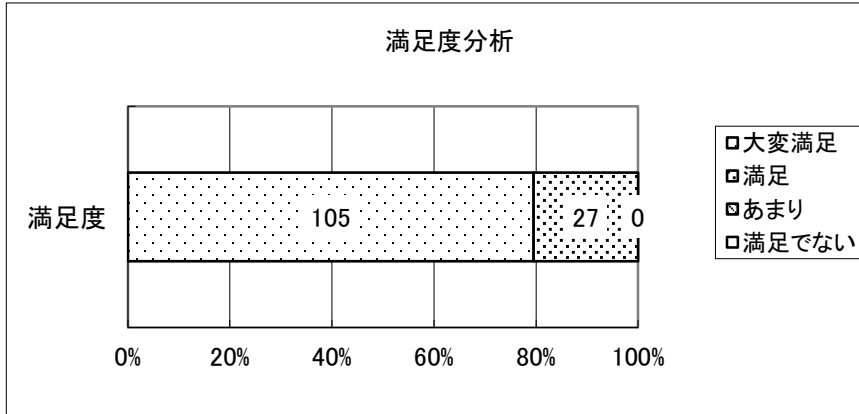
そのことを信じて、熱い気持ちで頑張ってください。

平成27年度 研修講座のアンケート集計

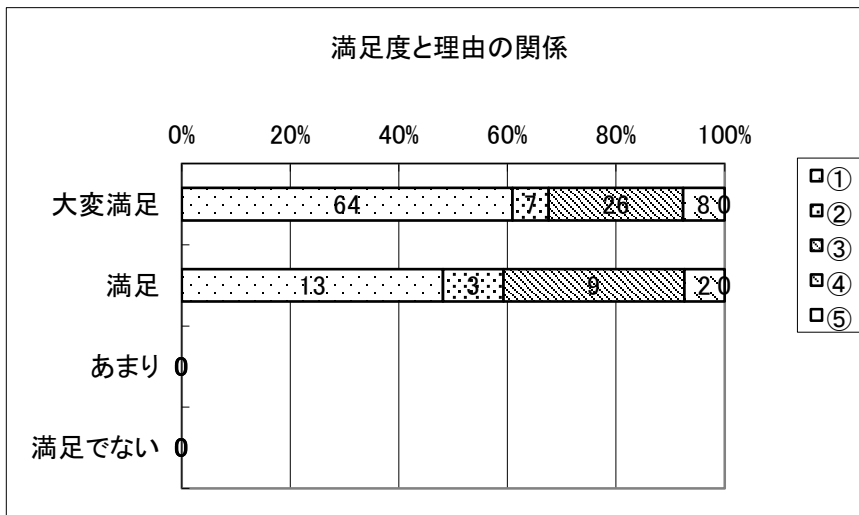
講座コード 61901 4回目 講座数 1回  
 講座名 福岡市立学校教員養成塾 実施日 平成28年2月28日

	大変満足	満足	あまり	満足でない
①	64	13	0	0
②	7	3	0	0
③	26	9	0	0
④	8	2	0	0
⑤	0	0	0	0
満足度	105	27	0	0

アンケート講師名  
 回答者 研修・研修課 岸本 隆幸  
 132 研修・研修課 原田 雅秀  
 指導員 21名



	受講名簿者数	受講者数
小学校	80	70
中学校	49	47
高等学校	1	1
特別支援	16	14
幼稚園		
計	146	132



- ①ニーズ
- ②形態
- ③講師
- ④活用
- ⑤その他

受講動機分析

自分の意思	107
管理職から	17
知り合いから	7
その他	1

満足度スコア  
 3.80

感想や要望など

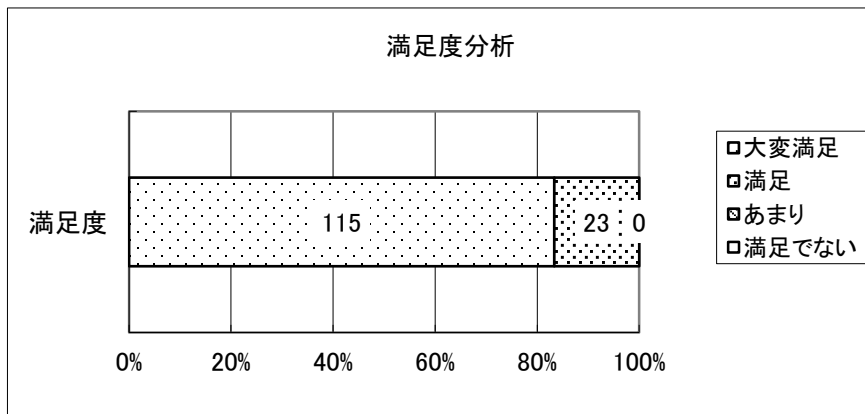
○生徒指導に関しては、自分の中で課題と思っていたことがたくさんあったので大変参考になりました。まずは、授業時間を守る等、小さなことから子どもと一緒に守っていけるようになりたいと思います。  
 ○生徒指導を行うに当たって、自分を無理して作り上げず、かつ、一貫した対応、丁寧な対応を心がけていきたいと思いました。  
 ●同じ特別支援学校でも、色々なシチュエーションがあります。もう少し、先生たちの話を聞いて、参考にしていきたいです。

平成27年度 研修講座のアンケート集計

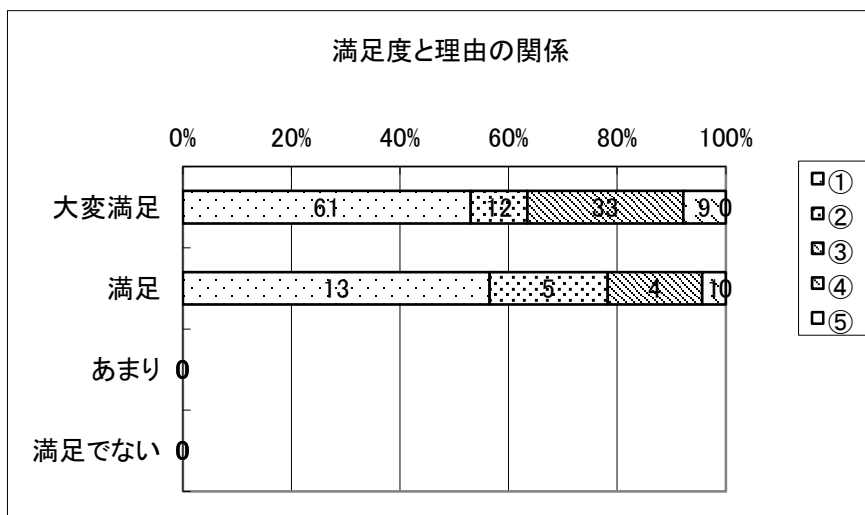
講座コード 61901 5回目 講座数 1回  
 講座名 福岡市立学校教員養成塾 実施日 平成28年3月13日

	大変満足	満足	あまり	満足でない
①	61	13	0	0
②	12	5	0	0
③	33	4	0	0
④	9	1	0	0
⑤	0	0	0	0
満足度	115	23	0	0

アンケート講師名  
 回答者 教育センター所長 相良誠司  
 138 指導員 21名



	受講名簿者数	受講者数
小学校	80	80
中学校	49	45
高等学校	1	1
特別支援	16	15
幼稚園		
計	146	141



- ①ニーズ
- ②形態
- ③講師
- ④活用
- ⑤その他

受講動機分析

自分の意思	111
管理職から	18
知り合いから	8
その他	1

満足度スコア

3.83

感想や要望など

○印象に残ったことは、所長の付け味と持ち味の話で、誰にでも良いところはあるという認めて頂いた気持ちになり、さらに、努力を続けよう意識が高まりました。  
 ○第1回から5回まで、具体的なスキルや講師の先生方の熱い思いに触れ、知識だけでなく、思いも高められる機会となりました。  
 ○これからの生活でも子どもとともに活動し、一期一会を大切にしていきたいと思えます。  
 ●せっかくの先生方の貴重な講義が聴ける場なので、午前には講義、午後にはグループワークでもよかったです。

平成27年度 研修講座のアンケート集計  
 講座コード 61901 講座名 福岡市立学校教員養成塾

0 受講動機分析(第1回講座の受講動機)

全 5 回

自分の意思	107	78%
管理職から	21	15%
知り合いから	7	5%
その他	2	1%

1 参加状況

	受講希望者数	受講名簿者数	受講者数	延べ受講者数	欠席者数	出席率	未受講者数
小学校		80	80	383	17	96%	
中学校		49	47	230	15	94%	
高校		1	1	5	0	100%	
特別支援		16	15	73	7	91%	
計		146	143	691	39	95%	

2 満足度集計

満足度	大変満足	満足	あまり	満足でない	満足度	満足度スコア
1回目	110	27	0	0	100%	3.80
2回目	119	18	1	0	99%	3.86
3回目	113	26	1	0	99%	3.80
4回目	105	27	0	0	100%	3.80
5回目	115	23	0	0	100%	3.83
6回目	0	0	0	0		
7回目	0	0	0	0		
8回目	0	0	0	0		
計	562	121	2	0	100%	3.82

3 講座分析

	判定	
平均出席率	95%	B
平均満足度	100%	A

判定基準

- A 95%以上
- B 90%以上95%未満
- C 85%以上90%未満
- D 85%未満

4 講座を実施したうえでの問題点(全講座を通して、講座形態、講師、研修内容など自由記述)

- 講話やグループワークの時間をもっとほしいという意見が毎回あった。
- 大学生からの申し込みも数件あった。

5 講座の改善点(4に対応して、講座形態、講師、研修内容など自由記述)

- 時期、回数、時間等について再検討する。
- 対象者を大学4年生、短大2年生にも広げて実施する方向で考えている。また、5～6月にプレ教員養成塾の開講も実施に向けて準備をしていく。

## 第5回 閉講式 ～塾生代表挨拶～

### 教員養成塾を終えるにあたっての決意



小学校における卒業は、六年生が学び舎を巣立つことです。教師にとっての「卒業」とは、学級担任として受け持った一年間の集大成が子どもたちの姿となって表れる日です。担任は旅立ちに向けて日々全力で子どもたちと向き合っています。時には子どもたちと対峙し、時には子どもたちと一緒に喜んで喜び悲しみます。行きつ戻りつ子どもとともに一歩ずつ前進します。そこには子どもへの広く深い愛情と、彼らの可能性に対する信念がなければなりません。そのような姿勢で子どもたちと向き合っこそ、子どもたちは教師の声に耳を傾けてくれるのです。教師は子どもにとっての身近なモデルです。わたしたちは、一挙手一投足が彼らの人格形成に大きな影響を与えることを深く自覚した上で教育活動に当たらねばなりません。その積み重ねがあつての卒業です。



今回五回にわたる研修を経て、教師としての自覚と教育に対する信念を新たにしました。第二回「望ましい学級経営について」では、小田博美先生が、「学級担任として、『気づく』『考える』『行動』するの3つのサイクルが大切だとおっしゃいました。わたしはその中でも「気づく」「考える」にさらに力を注ぐ必要があると考えました。それは「トヨタ」や「セブンイレブン」の標章に見るように、ともすればわたしたちは、それを見ただけで、「知っている」という気持ちになりやすいからです。子どもを見る視点を増やすことで洞察力を高め、よりよい指導へとつなげる必要があると痛感しました。

グループ別研修では、これまでの経歴も得意分野も異なる仲間たちと協働して一つの課題に向かいました。お互いに職場や学年はちがっても、悩みの本質は共通していることを実感しほっとしました。グループ別研修を担当して下さった満田文恵先生からはたいへん熱のこもった講義をいただきました。先生は、「学級担任は、学級集団の学び合いの質を上げていくためにも、自身が持っている教育哲学や信念を大切にすること、プラスの方向での同調作用や支持的風土へとつながる学級活動を仕組むこと、そしてP D C Aサイクルをもって適正に評価し、よりよい学習活動へと再生産していく力を身に付けねばならない。」とおつ







しゃいました。これは、教師自身がよりよい教育活動を目指して日々自己研鑽する、「教育の実践家」であれということだと思います。

これからの時代、『他者と協働して課題と向き合い、よりよい解決を図る』ことや『他者との協働を通して一人では成し得なかったことを学び合う』ことの重要性は増していくと考えられます。教員養成塾での「グループ別研修」も、そのような「協働力」を試すよい機会であったと感じました。

今回「教員養成塾」という、貴重な学びの場を提供して下さいったことに深く感謝します。また、グループ研修で講師の満田先生とお話したことや塾生と語り合ったことは、これからの教職人生においての大きな励みとなりました。

塾生の皆さん、これからも、学校教育現場において全力をもって子どもたちや地域と向き合ってください！

平成二十八年三月十三日 福岡市立学校教員養成塾 塾生代表

### 3 講師陣の総括

今年度は、全ての講師（全21名）を退職後3年程度の校長経験者に依頼した。ほとんどの講師の方々が、講師の指導力向上については課題を感じていたため、教師塾については高い関心を持って指導していただいた。

#### 【教師塾を終えての反省】

○内容面（学級経営・学習指導・生徒指導等）

- ・全体会でのプレゼンは、学級経営・学習指導・生徒指導の大きな定義や「ねらい」のようなことを話し、細々した内容は、分科会で触れる方がよかったです。
- ・平成24年の国立教育政策研究所が出した「キャリア教育を『デザイン』する」のパンフのように、キャリア教育が様々な「〇〇教育」の根幹をなしていることを認識した内容の講座が必要ではないかと考えます。
- ・学級経営・学習指導・生徒指導の内容で良いと思います。
- ・学習指導は、内容が多いから、2回した方が良いかなと思います。
- ・前半の部分の指導主事の講話が良いです。
- ・講話の聞き取りを尋ねて、研修内容を決めることができます。
- ・上記にも記載しましたが、「塾」として到達目標をまず決めること、そして指導員の到達目標、講師の到達目標を明確にしてもらえれば尚いいです。
- ・毎回の研修内容について言うならば、主任指導主事の話すべき内容と指導員の話すべき内容を全体的な立場で統一し用いるべきかと思います。そのためには、福岡市が作成すべきテキストとして、「福岡市の教師としての基礎・基本」（仮称）のようなものを用意し、積極的に活用できたらと思う。



他の都道府県市では作成しているものが多いですが、福岡市では作成していないので、育成する意味からは是非必要なので、次年度は作成してもらいたいです。個々の指導員が用いた資料が違う点は、育成する規準または到達目標から言うとバラバラだったような気がします。

・今回は、私は、富山市教育委員会が平成27年度に作成した「道しるべ」を使用しましたが、基本に立ち返って内容で在りテキストとして使えること、全編を通して児童理解の考え方（カウンセリングマインドの手法での対応）を用いていることなど、よく考えられた資料(後で個々の講師がおさらいとする資料)であったとの指導をする立場では使いやすかったと思います。

#### ○方法面（研修形態・期日・回数・時間等）

- ・実施は日曜日ではなく、土曜日にしてほしかったです。
- ・回数は5回でよいが、隔週の月2回がよい。2月は3回で余裕がなかったです。
- ・時間はグループ討議をした場合75分では足りない。90分は必要と考えます。
- ・連続しているので、意識が継続良いと思います。
- ・回数は、5回か6回ぐらいが良いと思います。増やすと充実と思います。
- ・塾生のニーズが初歩から専門までひろがるので、10人ぐらいが良いです。
- ・塾生は土曜日が休めて、日曜日午前中の開催が良いです。
- ・研修は、塾生の多様性から演習形式を多く取り入れる方が良いです。
- ・研修形態については、グループ協議の時間が取れ、個々の講師が考え、記述し、また相手の意見を聞き自分の考えを整理するのはできたと思います。特にグループでの協議の際の課題は、指導員について違っていたが、自分は講師9人の事前アンケートをマトリクス処理（参考資料）して臨んだので、毎回の課題は適宜アレンジできたのでよかったかと思う。
- ・期日については、日曜日より土曜日の方が指導員をする者としては使いやすかったと思います。
- ・回数については、5回が限度と思います。また時間については、10時から開始でグループ分散会での時間を少し増やせたら、もう少し意見交換がもっと活発になったかと思います。（2時間→2時間半）

#### ○運営面全般

- ・今後は「福岡市」としての望む教師の到達目標、教師養成塾としてのテキスト本などを明確に示して取り組んでもらうと講師自身の達成目標も見える化できるような気がします。

#### ○その他

- ・毎回の受講者のレポート、アンケートのコピーを渡してもらえれば、指導講師として指導内容の改善点がわかり、次回に生かせると考えます。
- ・受講者には特典があってもいい気がします。受講者の資質もわかりました。
- ・欠席を1回程度認めるしくみが良いです。ゆとりのあるしくみが見えます。

- ・学校現場は、支援員や講師がいなくて困っています。現場で名簿が使えるしくみになると良いと思います。
- ・即戦力のために、本人のためにも、大学4年生も、受けさせるようにできたら、良いと思います。
- ・参加した講師は既卒者であったこと、大学在学中の学生は今回は対象でないことについては限界があるので、共通できないことが難しい。
- ・参加した講師にとって参加する価値（来年度の受験に加味点がある）があれば尚幸いです。

## V 研究のまとめ

### ○研究の成果

- ・福岡市の教員として付けるべき資質向上の基本としてその意味と内容を限定して指導を行ったことは、今後の福岡市の講師の指導力向上へ向けての大きな成果となった。
- ・受講生の関心意欲も高く、受講前よりも明らかに教師になることに強い意志を持つことができた受講生がほとんどであった。

（受講者延べ人数685名中 大変満足562名・満足121名・あまり満足でない2名・満足でない0）

- ・退職校長を活用したことで、経験をもとにした実践レベルの話を多く取り入れていただき、受講生にとってすぐ学校現場で生かすことができる内容が多かった。また、「このような教師になってほしい」という管理職から見た想いや願いも含めた話もしていただいたことで、受講生の気持ちもかなり高まった。

### ●今後の研修に向けて

- ・講師の研修は採用前の段階における人物評価にもつながる点で、優秀な人材確保ができるメリットがある。今後さらに教職員課（採用担当）との検討を重ねる必要がある。
- ・教師塾自体の行動目標を明確にするとともに、主催者側が望む教師像を具体的に示唆することで講師陣の指導内容もより具体的なものになる。
- ・受講対象者については、学生にまで広げる方向で検討していく。
- ・受講回数は、今年度同様5回、研修内容も同様のもので行うが、指導内容については、より受講生の実態及びニーズに対応したものになるように検討する。

# 資料



福岡市立学校の正規教員を目指している  
講師の皆さん、実践的指導力を高めませんか?

# 福岡市立学校 教員養成塾

## 平成27年12月開講!



**受講費  
無料**

### 受講資格・条件

- ★現に福岡市立学校の講師（常勤, 非常勤）として勤務しており、以下の①及び②の両方の条件を満たす方が対象です。
  - ①平成27年12月に実施する、「福岡市立学校臨時教員（講師等）採用候補者選考試験」を受験する者（免除者も含む）。
  - ②平成28年7月～8月に実施する福岡市立学校教員採用候補者選考試験を受験する者。  
※養護助教諭, 栄養士代理職員, 実習助手は対象外とします。

### 研修会場・時間

- ★福岡市教育センター（福岡市早良区百道3-10-1）において、計8日間開催します。
- ★2時間の研修です。受講校種によって時間帯が異なります。
  - 中学校・高等学校 9:00～11:00（受付 8:30～）
  - 小学校・特別支援学校 10:30～12:30（受付 10:00～）

### 履修について

- ★修了を認定された者には、「修了認定書」を授与します。





## 研修期日・内容等

- ① 全体研修：学習指導や生徒指導等のテーマに基づき、教育委員会事務局主事等が講師となり、全体研修を行います。
- ② グループ別研修：指導員（退職校長）の指導の下、小グループによる討議や演習を行います。

回	期日	内容	全体研修担当者	グループ別研修担当者
1	12月13日（日）	○開講式 ○所長講話 ○オリエンテーション	教育センター所長 研修・研究課長他	担当の指導員 （退職校長） 30人程度のグループ 小学校 9 特別支援学校 2 中・高等学校 13
2	12月20日（日）	○服務，倫理，接遇	教職員課主事	
3	1月10日（日）	○学級経営と支援	教育センター主事	
4	1月24日（日）	○生徒指導	学校指導課主事	
5	2月14日（日）	○道徳教育	教育センター主事	
6	2月21日（日）	○学習指導	教育センター主事	
7	3月 6日（日）	○特別支援教育 ○教育課題（保護者対応等）	発達教育センター 主事 教育センター主事	
8	3月13日（日）	○閉講式（修了認定書授与） ○課長あいさつ	教育センター主事	

## 受講申込について

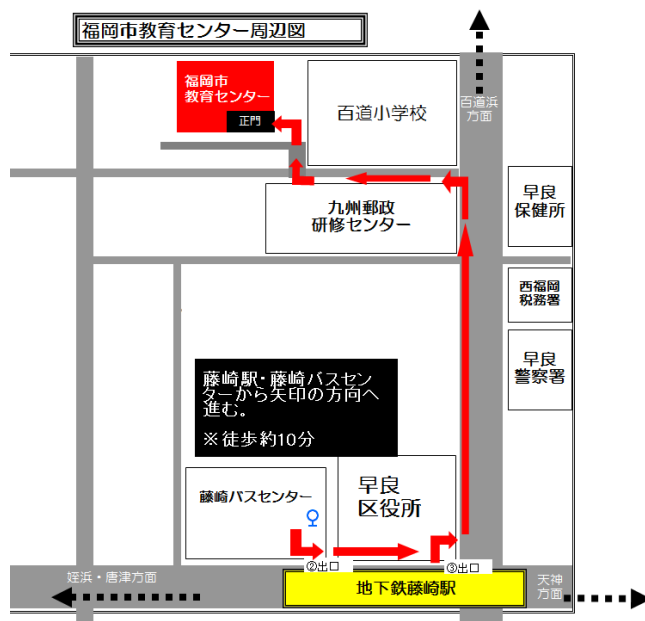
★募集要項や申込方法は、9月1日から10月31日まで、福岡市教育センターホームページに掲載します。

<http://www.fuku-ed.jp/center/index.htm>

★受講申込は、申込用紙（別途様式）にて申し込んでください。申込用紙は、ホームページからダウンロードできます。また、教育センター1階受付にも置いています。

★申込は、郵送又は市立学校の巡回文書連絡で受け付けます。詳しくは9月以降に上記ホームページでご確認ください。

★申込料や受講料は不要です。  
その他の経費（郵送料、交通費等）は自己負担です。



## \* 連絡先

福岡市教育センター 研修・研究課(研修講座等担当)

TEL 092-822-2875 FAX 092-822-2825

e-mail kens-kenk.BES@city.fukuoka.lg.jp



# 平成27年度 福岡市立学校教員養成塾 募集要項

## 本市の求める教員像

- 1 公務員としての自覚と高い倫理観，教育者としての情熱と強い使命感を持つ人
- 2 広く豊かな教養と社会性を備え，教育専門家としての確かな力量を持つ人
- 3 心身ともに健康で，子どもへの愛情と豊かな人間性を持つ人

## 1 受講資格，条件

現に福岡市立学校の講師（常勤,非常勤）として勤務しており，以下の①及び②の両方の条件を満たす方が対象です。

①平成27年12月に実施する福岡市立学校臨時教員（講師等）採用候補者選考試験に合格した方及び免除された方。

※ 申込後に選考試験結果が発表されますが，不合格となった場合は，受講できないこととなります。

②平成28年7月～8月に実施する福岡市立学校教員採用候補者選考試験を受験する方。

※ 養護助教諭，栄養士代理職員，実習助手は対象外とします。

## 2 申込方法

### (1) 提出書類

①平成27年度 福岡市立学校教員養成塾 申込用紙（別紙）

②返信用封筒【結果通知に使用】（封筒の表に82円切手を貼り，郵便番号，住所，氏名を記入する）

※ ①申込用紙②返信用封筒は，平成27年12月に実施する福岡市立学校臨時教員（講師等）採用候補者選考試験申込用紙と同封の上，送付して下さい。

(2) 送付先：〒810-8621 福岡市中央区天神1丁目8の1 「福岡市教育委員会 教職員課」宛

※ 封筒の表に，赤字で「福岡市立学校教員養成塾 申込書類在中」と記載すること

(3) 申込期間：平成27年10月13日（火）～11月13日（金）※当日消印有効

(4) 申込用紙は，福岡市教育センターホームページ（<http://www.fuku-ed.jp/center/index.htm>）からダウンロードできます。また，教育センター1階受付にも置いています。

(5) 申込用紙記入方法は，別紙の「申込用紙記入方法」を参照して下さい。

※ 電話やメール，学校連絡便による申込は受け付けません。

## 3 受講料等

(1) 申込料・受講料は不要です。

(2) 講座に通うための交通費，郵送費等の諸経費は，受講生の自己負担とします。

## 4 受講手続き

受講申込用紙提出と，第1回全体研修会（平成28年1月31日（日））の受付をもって，「受講手続き完了」とします。

## 5 修了書の授与について

(1) 研修を受講し，修了を認定された受講者には，「修了認定書」を授与します。

(2) 修了には，原則としてすべての講座への出席が必要です。ただし，やむをえない欠席については，1回までを猶予します。なお，欠席者は教育センターホームページに掲載している

全体講習の録画動画を視聴した上で、レポート作成し、次回の研修日までにレポートを提出しなければなりません。

## 6 募集人数

定員は、小学校・特別支援学校で300名、中学校・高等学校で300名です。定員になり次第締め切ります。

## 7 講座日程、内容等

### (1) 講習当日の日程

	中学校・高等学校	小学校・特別支援学校
受付	8:30～9:00	10:00～10:30
全体研修	9:00～9:30	10:30～11:00
グループ別研修	9:45～11:00	11:15～12:30

### (2) 研修内容について

- ① 全体研修（中・高；9:00～9:30，小・特支；10:30～11:00）
  - 学習指導や生徒指導等のテーマに基づき，教育委員会事務局主事等が講師となり，全体研修を行います。
- ② グループ別研修（中・高；9:45～11:00 小・特；11:15～12:30）
  - 指導員（退職校長等）の指導の下，小グループによる，討議や演習を行います。

No.	期日	全体研修内容	グループ別研修内容
1	1月31日（日）	○開講式 ○教育委員会講話 ○オリエンテーション	○福岡市立学校教員として必要な資質・能力について考える
2	2月7日（日）	○学級経営の基礎基本	○望ましい学級経営について考える
3	2月21日（日）	○学習指導の基礎基本	○望ましい学習指導について考える
4	2月28日（日）	○生徒指導の基礎基本	○望ましい生徒指導について考える
5	3月13日（日）	○所長講話 ○閉講式（修了認定書授与）	○これまでの学びを振り返る

## 8 その他

開講後，受講生としての適格性を欠くと判断した場合は，受講生としての資格を取り消すことがあります。

【問い合わせ先】 福岡市教育センター 研修・研究課（研修講座等担当）  
〒814-0006 福岡市早良区百道3-10-1  
電話：092-822-2875 fax：092-822-2825 E-mail：kens-ken.BES@city.fukuoka.lg.jp

## 申込用紙 記入方法について

- 1, 楷書で正しく記入して下さい。
  - 2, 写真は、最近6ヶ月以内に撮影したもの(上半身・正面, 縦4cm×横3cm)を貼付して下さい。
  - 3, 住所は、福岡市在住の方以外は、都道府県名から記入して下さい。  
マンション, アパート名等も省略せずに記入して下さい。  
連絡の取れる住所を記入して下さい。
  - 4, 電話番号は、固定もしくは携帯電話いずれかのうち、連絡のつきやすい方に○を付けて下さい。
  - 5, 免許状は、取得又は取得見込みのものを、すべて記入して下さい。
  - 6, 受講希望校種/教科等は、下記の「受講希望校種/教科等 一覧表」を参照して、1つ選び、記入して下さい。
- ※ 申込用紙の個人情報、研修以外の目的に使用することはありません。

「受講希望校種/教科等 一覧表」

校種等	教科 (科目)	コード
小学校		1 0 0
中学校	国語	2 0 1
	社会	2 0 2
	数学	2 0 3
	理科	2 0 4
	英語	2 0 5
	音楽	2 0 6
	美術	2 0 7
	保健体育	2 0 8
	技術	2 0 9
	家庭	2 1 0
高等学校	国語	3 0 1
	地理歴史	3 0 2
	公民	3 0 3
	数学	3 0 4
	理科	3 0 5
	英語	3 0 6
	音楽	3 0 7
	美術	3 0 8
	保健体育	3 0 9
	工業	3 1 0
	情報	3 1 1
	家庭	3 1 2
	書道	3 1 3
	その他	3 1 4
特支学校	小学部	4 0 1
	中学部 (高等部)	4 0 2



平成27年度 福岡市立学校教員養成塾 申込用紙 記入例

※は記入しないで下さい。

※

ふりがな	はかた たろう		写真欄 (縦4cm×横3cm) 1, 最近6ヶ月以内に撮影したもの 2, 上半身・正面 3, 脱帽  写真の裏に名前を記入		
名前	博多 太郎				
生年月日	平成28年3月31日現在 (満 23 歳) 平成・昭和 4年 7月 13日				
ふりがな	ふくおかしさわらくもち3-10-1 センターふじさきびる102ごうしつ (〒814-0006) *福岡市以外の場合は都道府県名から				
現住所	福岡市早良区百道3-10-1 センター藤崎ビル102号室 固定 (092-822-2875 ) (携帯) (090-1234-5678) *連絡の取りやすい方に○を				
ふりがな	●●けん〇〇し△△ ○-○-〇〇				
上記以外の連絡先	(〒***-****) *福岡市以外の場合は都道府県名から ●●県〇〇市△△ ○-○-〇〇				
〈学歴〉	学校名	学部・学科	卒業・修了 等		
〇〇	大学	●●学部 △△学科	平成・昭和 26年3月31日 ■卒業 □中退 □卒業見込み		
☆☆	大学院	★★学部 ◎◎学科	平成・昭和 28年3月31日 □修了 □中退 ■修了見込み		
教員免許状	種別	種類	教科	取得(見込)年月日	取得状況
	小学校	専・①・2		平成26年 3月31日	取得 取得見込
	中学校	専・①・2	社会	平成26年 3月31日	取得 取得見込
	高等学校	専・1		平成 年 月 日	取得 取得見込
	特支学校	専・1・2		平成 年 月 日	取得 取得見込
				平成 年 月 日	取得 取得見込
受講希望校種/ 教科等	裏面の「受講希望校種/教科等 一覧表」を参照して、1つ選び、記入して下さい。				
	(校種/教科等コード) 202	(校種/教科等 名) 中学校 社会			
主な資格・免許 (段位等) ボランティア・留学 など	剣道4段, 英語検定2級				

以上、記載内容に相違なく、上記の通り申し込みます。

平成27年 11 月 6 日

自署 博多太郎

様式第10（無断複製等禁止の標示）

本報告書は、文部科学省の初等中等教育等振興事業委託費による委託事業として、福岡市教育委員会が実施した平成27年度「総合的な教師力向上のため調査研究事業」の成果を取りまとめたものです。

したがって、本報告書の複製、転載、引用等には文部科学省の承認手続が必要です。